

新潟地震の時は…

- ・大きな被害はない
- ・南浜地区の液状化はほぼなかった

地 域 の 社 会 特 性

- ・ほぼ全域が避難者受け入れ地域
- ・避難目的場所に向かって移動し、地域の安否確認を実施するとともに、要援護者対応などにつとめる
- ・全体的に他地域からの避難者の受け入れにそなえる
- ・人口は約 7,700 人
- ・高齢者が多く、子供が少ない(災害弱者が多い)
- ・休耕地が多い
- ・キャンプ場の利用者や釣り客が多い
- ・競馬場の開催中は多くの人が訪れる
(地域外の人が多い)
- ・東港に隣接している(工場が多い)

地 域 の 被 害 特 性

- ・周辺に工場が多いため、火災などの危険が高い
- ・地盤がしっかりしている(倒壊の危険性が少ない)
- ・津波が来るまで余裕があるので一時避難場所で安否確認・安全確認
- ・道路が狭いので車は使用禁止
- ・援護者対策：貸与されたリヤカーを使用
- ・防災マップを各自治会ごとに作成してある

各 ブ ロ ッ ク ごとの具 体 的 な 避 難 方 法

ブロック	特 徴	期待される避難行動	避 難 目 標
A	・企業が多い ・避難所の避難可能人数が少ない	・企業が立地しているので、いる平日といない休日対応が異なる。 避難所に行くか、一時避難所に残るか等柔軟な判断をする	第1目標：太郎代神社 標高 27m 最終目標：旧埋蔵文化財センター (避難所) 標高 17m
B	・避難所の避難可能人数は比較的余裕がある	・津波の危険はほとんどないので、自治会で組織的に対応し、避難者を積極的に受け入れよう ・一時避難所に集合して避難所に避難するのが基本 ※ただし要援護者についてはこの限りではない	最終目標：南浜小学校 (避難所) 標高 17.5m
C-1	・避難所の避難可能人数は比較的余裕がある ・派川加治川において河川遡上が考えられるので、川からただちに離れ、安易に川を横断しないこと	・派川加治川からできるだけ早くに離れ、南浜中学校にすぐに移動 ・一時避難所に集合して避難所に避難するのが基本 ※ただし要援護者についてはこの限りではない	最終目標：南浜中学校 (避難所) 標高 9.0m
C-2	・避難所の避難可能人数は比較的余裕がある ・派川加治川において河川遡上が考えられるので、川からただちに離れ、安易に川を横断しないこと	・派川加治川を無理して渡らず、自治会館で様子を見る ・一時避難所に集合して避難所に避難するのが基本 ※ただし要援護者についてはこの限りではない	第1目標：白勢町自治会館 最終目標：南浜中学校 (避難所) 標高 9.0m
D-1	・避難所の避難可能人数が少ない ・隣接する地域からの避難も想定される	・派川加治川からできるだけ早くに離れる ・太夫浜小学校には、避難者が集中すると考えられるので、各地区で組織的に安否確認を実施しよう ・状況を見て、避難が想定される人を考えて避難所、一時避難所、在宅の人を分ける	第1目標：陽光南公園 最終目標：太夫浜小学校 (避難所) 標高：15.7m
D-2	・派川加治川において河川遡上が考えられるので、川からただちに離れ、安易に川を横断しないこと	・派川加治川を無理して渡らず、太夫浜球技場で様子を見る ・状況を見て、避難が想定される人を考えて避難所、一時避難所、在宅の人を分ける	第1目標：球技場 標高 8.5m 避難所でないが避難できる車も入れる高台 最終目標：太夫浜小学校 (避難所) 標高：15.7m